

鋼材試験

試験申請書について

工事名 施工場所 工事発注者	請負工事の施工業者が行う施工管理試験の場合、必ず記入してください。 販売等、建設資材を出荷する工場が行う材料品質証明のための試験(不特定の工事に使用)の場合は、工事名を“品質管理試験”とし、施工場所・工事発注者については、必要があれば記入してください。
鋼材の使用箇所	請負工事の施工業者が行う施工管理試験の場合、必ず記入してください。
鋼材の製造会社	必ず記入してください。
鋼材の種類	鋼材の種類が複数に渡る場合、種類毎に申請してください。
鋼材の本数	鋼材の呼び名ごとの本数を記入してください。
圧接製作年月日	圧接されたものを試験する場合、圧接されて1日ほど養生期間をおいてください。
試験片の種類	必ず記入してください。

※鋼材の種類・呼び名・試験片の種類等の記入漏れの無いようお願いします。

持ち込み試料について

試料持込に際しては、申請者が直接、センターへお持込ください。

持ち込みが困難な方は、[試験申請要領](#)をご参考ください。

試験受付可能試験片は、**異形棒鋼**及び**平板**のみとなります。

鋼材試験用の試験片は申請者側で所定の長さに成形したものを搬入願います。

試験片の必要長さは、JIS Z 2241、JIS Z 3120のとおりですが、円滑に試験を実施するため、下表寸法での持込みをお願いします。

つかみ代はD8～38は両端に150mm、D41～51は両端に200mm必要です。

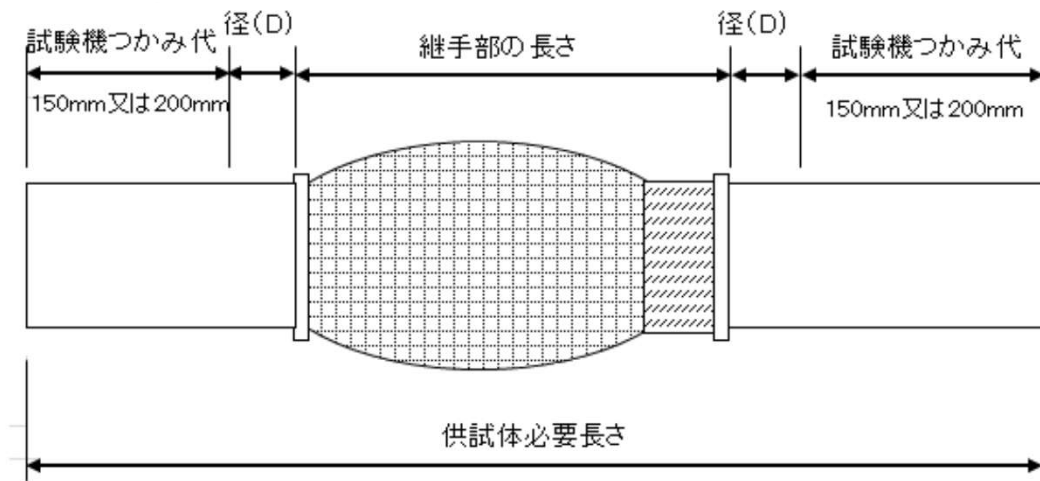
試験機の構造上、供試体長さの上限は概ね1000mmです。

溶接等で屈曲がある試験片は、試験機の故障の原因となります。屈曲がないものをお持ち込み下さい。

下表によりがたい場合は、事前にご相談ください。

※重ね(フレア)溶接されたものについては、試験を行いません。

鋼材の径	供試体必要長さ	
	生材(mm)	圧接・溶接・機械継手(mm)
D8~35	600	600
D38	700	600
D41	800	700
D51	900	700



(参考)

JISより算出した試験片の必要長さ

【生材】……JIS Z 2241(φ 25mm以下2号試験片、φ 25mmを超えるもの14号試験片)参照

【圧接・溶接・機械継手】……JIS Z 3120 参照

鋼材の径	供試体必要長さ	
	生材(mm)	圧接・溶接・機械継手(mm)
D8	380	370
D10	400	380
D13	430	410
D16	460	430
D19	500	460
D22	530	480
D25	510	430
D29	530	450
D32	560	460
D35	580	480
D38	610	500
D41	740	610
D51	810	660